

令和5（2023）年度博士前期課程（留学生選抜）問題 目次

専門試験		ページ	
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	-
		科学技術社会論	1 - 2
		臨床哲学	3
		中国哲学	-
		インド学・仏教学	-
	グローバルヒストリー・地理学コース	東洋史学	4 - 6
		西洋史学	-
		人文地理学	-
	文学コース	中国文学	
		英米文学	-
		ドイツ文学	-
		フランス文学	-
		テクスト環境論	7 - 12
	比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	-
	日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学
日本史学			-
考古学			-
日本文学・日本語史学			15 - 19
基盤日本語学			20 - 22
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	23 - 25
	美学・文芸学コース	美学	-
		文芸学	-
	音楽学・演劇学コース	音楽学	26 - 28
		演劇学	29 - 31
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	32 - 35
		西洋美術史	-

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース (科学技術社会論受験分野) 専門試験
[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること
②問題用紙は持ち帰ること

I 次の英文を読み、日本語で5行程度で要約しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(David Shatz, *Peer Review: A Critical Inquiry*, Rowman & Littlefield Publishers, 2004, p. 1, ll. 2-20.)

(2枚目／2枚中)

II 以下の語句の中から、3項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で解説しなさい。

- 1 ポスト・ノーマルサイエンス (Post-Normal Science)
- 2 コンセンサス会議 (Consensus Conference)
- 3 利益相反 (Conflict of Interest)
- 4 責任ある研究・イノベーション (Responsible Research and Innovation)
- 5 科学技術・イノベーション基本法

III 科学者の社会的責任について、自らの考えを日本語で論述しなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース (臨床哲学受験分野) 筆記試験

問題1 添付資料は、反「精神障害」者差別論を唱え、精神医療解体運動をすすめてきた理論家かつ運動家である吉田おさみが書いた個人史の一部である。その末尾にある「キチガイ、非人間を意欲する」とは何を意味するのかについて、あなたの解釈を日本語で述べてください。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。出典は次の通りです。
吉田おさみ著『“狂気”からの反撃：精神医療解体運動への視点』（新泉社）1980年、
250頁6行目～253頁8行目

問題2 次の「交差性 intersectionality」について書かれた英文を、日本語に訳してください。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。出典は次の通りです。
出典：Patricia Hill Collins, *Intersectionality as critical social theory*, Duke University Press,
2019, p.26, 1.26, 1.26-38.

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題

人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース (東洋史学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は3枚です。I～IVについて、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

(1枚目/3枚中)

I 英語問題

次の英語の文章をすべて現代日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視し、誤植箇所は訂正のうえ翻訳すること。

<問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです>

【W. Eberhard, *Conquerors and Rulers* (Leiden: Brill, 1965), p. 86, ll. 6-24】

(2枚目/3枚中)

II 論述問題

[問題Iとは別の解答用紙を用いること]

次の2問から1問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

1. アジアにおける暦と国家との関係について、具体例を挙げつつ（複数可）、論述しなさい。
2. アジアの垂簾聽政について、具体例を複数取り上げ、これらを比較しつつ論述しなさい。

III 基礎事項問題

次の(a)～(e)の事項について知るところを、それぞれ2行程度で簡潔に答えなさい。

[問題I, IIとは別の解答用紙を用いること]

- | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|------------|
| (a) 活仏（化身ラマ） | (b) 中書省 | (c) 『永楽大典』 |
| (d) シャヴァンヌ (Édouard Chavannes) | (e) クリム（クリミア）=ハン国 (Crimean Khanate) | |

(3枚目/3枚中)

IV 漢文問題

次の漢文は、清代の王鳴盛が著した『十七史商榷』卷15・漢書・郡不言何屬の一部分である。これを読んで、下の問い合わせに答えなさい。なお、一部の箇所では標点を省略している。

地理志郡國一百三言所屬者凡七十九
不言所屬者凡二十四詳攷之其不言者皆
疏漏非有義例也。即如臨淮郡不言何屬，
而其上文琅邪東海二郡皆云屬徐州。臨淮
之屬徐州無疑，而獨不言。^② 沔水國不言
何屬，而其上文楚國，下文廣陵國皆云屬
徐州。泗水之屬徐州無疑，而獨不言。九
真郡不言何屬，而其上文南海鬱林蒼梧交
趾合浦，其下文曰南六郡，皆云屬交州。
九真之屬交州無疑，而獨不言。
^③ 即此三處推之則其餘郡國之不言者皆
疏漏可知。且其所屬有屬冀州，屬兗州，
屬青州，屬徐州，屬揚州，屬荊州，屬豫
州，屬幽州，屬并州，屬益州，屬交州，屬
司隸，而獨無雍州改名之涼州，亦皆疏漏
耳。

- 問1 傍線部①を現代日本語訳しなさい。
- 問2 傍線部②を現代日本語訳しなさい。
- 問3 傍線部③を現代日本語訳しなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース (テクスト環境論受験分野) 筆記試験
[問題用紙は **6** 枚です。]
(1枚目 / **6** 枚中)

次の英文を読み、全体の内容を適切な長さ（字数）の日本語で要約しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：James Seaton, *Literary Criticism from Plato to Postmodernism: The Humanistic Alternative*
(Cambridge UP, 2014, p. 73, ll. 1–17)

II 次の英國の詩とその翻訳とを比較し、特に最終連の翻訳にみる改変や工夫について論じなさい。

出典は Lewis Campbell, (ed.), *Poems of Thomas Campbell* (London: Macmillan and Co., 1904), p.79 (l.1-l.26) と山田美妙編『新体詞選』(香雲書屋, 1886) , p.2(l.7)-p.7(l.1)です。なお読みやすくするため、表記を変えたところがあります。

THE SOLDIER'S DREAM

OUR bugles sang truce—for the night-cloud had lower'd,
And the sentinel stars set their watch in the sky ;
And thousands had sunk on the ground overpower'd
The weary to sleep, and the wounded to die.

When reposing that night on my pallet of straw,
By the wolf-scaring faggot that guarded the slain,—
At the dead of the night a sweet vision I saw,
And thrice ere the morning I dreamt it again.

Methought from the battle-field's dreadful array,
Far, far I had roam'd on a desolate track :
'Twas Autumn,—and sunshine arose on the way
To the home of my fathers, that welcom'd me back.

I flew to the pleasant fields traversed so oft
In life's morning march, when my bosom was young ;
I heard my own mountain-goats bleating aloft,
And knew the sweet strain that the corn-reapers sung.

Then pledged we the wine-cup, and fondly I swore,
From my home and my weeping friends never to part ;
My little ones kiss'd me a thousand times o'er,
And my wife sobb'd aloud in her fulness of heart :—

“Stay, stay with us,—rest, thou art weary and worn !”
And fain was their war-broken soldier to stay ;—
But sorrow return'd with the dawning of morn,
And the voice in my dreaming ear melted away.

1804.

bugle: a musical instrument like a simple trumpet, used especially in the army

truce: a temporary agreement to stop fighting

sentinel: a person employed to guard something

pallet: a small, hard, or temporary bed

faggot: sticks of wood, tied together and used as fuel for a fire

array: a large group of things or people

strain: the sound of a piece of music

fain: pleased or willing under the circumstances

しそつ ゆめ 士卒の夢

しめん さむ かぜ。 かがり び きえは
四面は寒き夜半の風。 篠火さへも消果てて、

寄せ来る敵の影遠く、 杉の梢に梟の、

友呼代はす声すなり。 時を守れる老兵が、

木陰にひとり太刀剣、 杖となしつつ倚靠り、

昔を思掛けつつ、 立てる姿ぞ憐れなる。

遠き方にて屍を、 貪啖ふ狼の、

吼ゆる声だに凄じく、 山の端青き月の顔、

殺せし敵の怨霊が、 恨を含む如くにて、

松虫すだく尾花には、 契りし友の招くかや。

ひとりすむ老兵の、 眠れる影ぞ憐なる。

(3枚目／6枚中)

夢にぞ帰る故郷の

幾重の山路草深く、

茲も昔は生死の

海か剣の山間に、

わが友人が其骨を、

埋めし所尋ねば、

松こそ茂れ、蟋蟀の、

後を弔ふ声ばかり。

胸に溢るる懷旧の

涙を呑むぞ憐なる。

或は歩む野辺の路、

見し撫子の花の露、

湧きもたつなる峯の雲、

清く流るる谷の水、

戯狂ふ山羊羊、

昇り棚引く薄烟、

ありし昔にかはらねど、

変わりはてしは我身ぞと、

見る物つけ、己をば、

卿つ心ぞ憐なる。

家に帰りて、父母に、

さす盃は浅くとも、

思はさしも深緑、

待とし聞けばいとど猶、

妻子の面もなつかしく、

互に昔語合ひ、

遂には濡らす袖袂。

そも理といふばかり、

憇めかねて老兵の、

惱む姿ぞ哀なる。

「我俟すこしく待結へ。

父上兎をも俱したまへ。

旅の疲憊も噬かしな。

憩給へやしばらく。」と

右左より縋着く

妻と我子の声聞けば、

流石に猛き老兵も、

床に転ぶと見し夢の

裡に聞ゆる喇叭の音、

起きてぞ修羅に急ぐらん。

III 次の文章は、金井美恵子の小説「プラトン的恋愛」の一部です。これを読んで、以下の問いに答えてください。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典 『愛の生活・森のメリエジース』
(講談社、一九九七年八月、二四一頁一行目-二四四頁二行目)

問

- (イ) 傍線部①について、どのような点で「奇妙」なのか、述べよ。
- (ロ) 傍線部②について、「わたし」がそのように考えるのはなぜだと思われるか、述べよ。
- (ハ) 小説における〈作者〉と〈作品〉の関係について、本文を踏まえながら、あなたの考えを論述せよ。

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース (現代日本学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

[I] 次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で日本語で説明しなさい。

- (1) 伊藤仁斎 (2) 『廿世紀之怪物帝国主義』 (3) 『青鞞』 (4) 柳田國男
(5) 沖縄学 (6) 閩市 (7) 「明治百年」問題 (8) 日朝平壤宣言
(9) 家父長制 (10) ポストコロニアリズム (11) リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
(12) パブリック・ヒストリー

[II] 次の4問のうちの1つを選んで日本語で答えなさい。

- (1) 近世日本における朱子学派と古学派の対立点を整理したうえで、思想家の名前を挙げながらそれぞれの特質について論じなさい。
(2) アジア太平洋戦争の「戦災」について、2つ以上の地域を比較しながら論じなさい。
(3) 近現代日本における女性の表現者について具体的な事例をあげ、フェミニズム的観点からその人物の活動について論じなさい。
(4) 「歴史修正主義」について、日本を事例に述べなさい。

(2枚目/2枚中)

[Ⅲ] 次の文章は、Yoshio Sugimoto, *An Introduction to Japanese Society*, Fourth Edition, (Cambridge University Press, 2014)の一節(210 頁 23 行目～211 頁 13 行目)である。本文を読んで以下の問いに日本語で答えなさい。

1. 下線部①に示されている日本における国籍の与えられ方について説明しなさい。
2. 下線部②を翻訳しなさい。
3. 戦後日本における脱植民地化について本文の内容も交えて説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、掲載を省略します。
出典は問題文のとおりです。

〔問題用紙は五枚です。解答はすべて日本語で書きなさい。〕

（一枚目／五枚中）

〔一〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

むかし、男ありけり。身はいやしながら、母なん宮なりける。その母、長岡といふ所に住み給ひけり。子は京に宮づかへしければ、まうづとしけれど、しばしばえまうです。ひとつ子にさへありければ、いとかなしゅし給ひけり。さるに、十二月ばかりに、とみのこととて御ふみあり。おどろきて見れば、歌あり。

A 老いぬればさらぬ別れのありといへばいよいよ見まくほしき君かなかの子、いたううち泣きてよめる。

B 世の中にさらぬ別れのなくもがな千世もといのる人の子のため

（『伊勢物語』）

問一 傍線部の内容を、人物関係を明らかにして分かりやすく説明しなさい。

問二 A B の和歌を「さらぬ別れ」の内容を具体的に説明して現代語訳しなさい。

問三 二重傍線部について、「とみのこと」と書いたのはなぜか、全体の内容を踏まえて説明しなさい。

次の文章は、芳賀矢一・杉谷代水編『作文講話及び文範』（一九一二（明治四五）年刊）の第十四講「国文の沿革」の、明治時代の文章について述べた部分です。これを読んで、後の問い合わせに答えなさい。

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

明治の初年に政柄を取つたのは薩長その他の武士で、彼らは国文よりも漢文の教育を主として受けた人間だけに、おのずから漢文または①漢文直訳体の文章が格式ある幕府の公用文章に代えられ、詔勅でも法律でも命令でも皆漢文直訳体の文章をもつて綴られ、臣民の建白請願も政事上の論文も皆この体を用いた。また、この頃起こつた新聞紙も、法令布告の報道や政事上の評論が主であつたので、その記者も今日のいわゆる硬派が重で、漢文素養の人々のみであった。（中略）

この間に立つて仲間外れのごとく、ただ一人通俗文体を用い、平明易解をもつてどこまでも貫いたのは流石は福沢諭吉である。しかも、この仲間外れの文章が実は国文の正体で、漢文直訳体こそ一時の間に合わせの寄生的文章に過ぎなかつたのである。今日読み直してみても福沢の文章だけは面白いが、その他の連中のは皆隔世の感がある。それから明治十四五年頃までは、民権自由とか民選議員とかすべて政論中心の世の中で、文章も相変わらずの漢文直訳調、それから一転するにはしたが、この調子の文章はその後までもなお残つて、「経国美談」「佳人之奇遇」などいう政治小説や、また一般の新聞論説その余波をとどめた。

漢文直訳の文章が何時いかなる動機で今日のような時文になつたかということは一口には言われぬ。自然の要求で、その種の文章が我れからだんだん國語に接近したのが一つ、明治の新文学の勃興したのが一つ、古文学復興の影響が一つ、これらが一緒になっておいおいに標準的時文ができたのである。

このうち新文学の勃興というのは新小説の勃興のことと、明治十八九年頃に出た春の屋主人（坪内逍遙氏）の「小説神髓」及び「当世書生氣質」がその唱首であった。氏はその論と作とによって、旧式の勧懲小説や伝奇小説を排して写実主義を標榜したのであつたが、その文体においても旧式から脱化して新しい一体を樹てようとした。それは「小説神髓」の文章を一見しても容易にわかる。（中略）

さて、また古文学の復興運動には井上毅氏等が唱首となつた。これは維新の動搖で四十五年間廢絶されていた皇道国学を古文学の研究によつて復興しようとした運動で、時あたかも、外国文物の輸入が純正哲学やキリスト教や社会主義の類にまで及び、その利弊も目に見えて、国民的自覚がそろそろ起りかけた時であつたので、たちまち非常な勢いをもつて成功し、国学者の言論（重に文学上文法上の）が傾聴せられ、国文国歌の書物が盛んに翻刻せられ、文法書類が先を争つて文壇に迎えられた。その結果、一般の操触者に文法の必ず守るべきものなることを眞面目に覺らせ、また古文学の標準的作物に接せしめて雅語古語の用法を正式に教えたことになつた。そして和漢洋三文の調和の中でも国文をもつて主とせねばならぬということも十分合点させた。新しい時文の標準がここに始めて立つた。作物の方では春の屋主人の外に二葉亭四迷、尾崎紅葉、山田美妙、川上眉山、幸田露伴等の作家が輩出して、小説は一時に新しくなつた。しこうして、この新小説の勃興がまた図らずもここに一つの新しい文章を生んだ。言文一致すなわち口語文がそれである。

言文一致の創唱は山田美妙斎氏と伝えられ、また實際言文一致の小説を第一に公にしたのは美妙斎であるが、将来の小説を言文一致と見極めてその試作にとりかかつた最初の作家は長谷川二葉亭である。ともかくもこの言文一致が文壇に非常な刺戟を与えた。驚かれたり、珍しがれたり、笑われたり、考えられたり、いろいろしたが、結局小説界に根をおろして、あちこちから勢いのいい新芽が出た。當時あたかも大学の外山博士等の間に②国字をローマ字に改めようという主張もあつたので、このローマ字論者が当然言文一致に声援を与えることになり、小説以外の普通文にまでも言文一致は試みられ、それがまた漸次に行われた。第四講に述べたごとく、元来どこの国の文章でも言文二途といふわけはない、日本でも古代は皆言文一致であった。「古事記」でも「源氏物語」でも皆言文一致で書かれたものだが、源平時代の頃から文章と言語とがべつべつに変遷して、両者の距離がだんだん大きくなつたのである。

③室町時代の末頃、叡山の僧侶の書いた蘇東坡詩集の註釈書や、豊臣時代の聞き書き「おあん物語」、文禄年間の翻訳「伊曾保物語」などには口語文が用いてある。中にも「伊曾保物語」のごときは、立派な口語文である。紅葉山人は「：である」という終止法を始め、句尾の省略法などに非常な苦心をしたということであるが、その時早くこの伊蘇保の翻訳を見たなら、それはどの苦心なしに容易に工夫がついたろうと思われる。この言文一致の試みが徳川時代になつてなぜ発展しなかつたか實に惜しいことであるが、實際それらの口語文は今でこそ非常に目につくものの、當時ではごく一局部に読まれたものゆえ、一般の文章に影響するだけの力はなかつたのである。

④徳川時代に至つても経書の初等講義や、心学道話や、軽口噺などには、口語体が重宝がられたものである。有名な「鳩翁道話」は柴田鳩翁の心学話を息子が筆記したそのままの形で出版したのであるが、文章として實に立派な口語文である。こういう風で言と文とを一つに引き寄せる試みは、通俗という目的をもつて折々試みられたが、明治に入つてそれが始めてあらゆる文体上の理想として唱えられ実行せられたので、これも旧制打破、百度更始の一つ、文章上の王政復古とでもいおうか、日本の歴史中王政時代はいつも言文二途で、武家時代の間が言文二途で、また明治になつて言文二途になるとは何かの因縁かも知れぬ。

問一 傍線部①で言うところの「漢文直訳体」、あるいは「漢文訓読体」の、日本語史における位置づけについて、知るところを述べなさい。

問二 傍線部②で言うところの「国字をローマ字に改めようという主張」について、それが何故「当然言文一致に声援を与えされること」になるのかを含めて、知るところを述べなさい。

問三 傍線部③及び④で示される文献について、またそれらの文献で使われている文章について、知るところを述べなさい。

三

次の文章は、田山花袋の小説『ネギ一束』（一九〇七）の末尾です。幼い頃から苦しい生活をしてきた「お作」は、「祭文読」の男と一緒に立って故郷を離れたものの、すぐに捨てられてしまい、頼りになる人もいない土地で出産を余儀なくされ、困窮しています。

これを読んで、後の問い合わせに答えなさい。

《引用は『花袋全集 第一巻』（花袋全集刊行会、一九三六）六四九～六五一頁》

一月ほど経つたある日の午後であつた。

お作は起上つた——室は暗く汚い。一隅に小さい薪籠、其傍に近所の人の情で拵へた蒲團に赤兎が織はぎの着物を着て寝て居て、其向うに一箇の圍爐裏、黒い竹の自在籠に黒猫のやうになつた土偶が懸つて居て、傍に朝を炊く土鍋が置かれてあるが、幾日にもそれを炊いた跡が見えない。木の燃えさしがたらしく轉つて居て、煙の黒く焦げたのが際立つて眼に着く。これは祭文讀とお作と喧嘩した時、過まつて取落して燃えたのであつた。戸外は秋の灰色に曇つた日、山の温泉場はやゝ閉て、此の小屋の前から見ると、低くなつた凹地に二階三階の家屋が連つて、大湯から絶えず立驅る湯の烟は静かに白く舞いて居た。

溪流の淵の鳴る音が遠くて聞える。

お作は立ちあがつた。二日以來飯を碌々食はぬので、足が妙にふらつく。かう腹が減つては爲方が無い。何でも好いから食へるもの少し搜して來ようと思つたのである。と、同時に赤兎が聲を擧げて泣き出した。て、お作はふらつく胸を踏占めながら、先づ抱き上げて、出ぬ乳を吸はせたが、容易に泣き止まうともせぬので、今度は黒砂糖を水に溶して、吸口を兔がつて見た。て、何うやら彼うやら泣止んだので、それを古い帶で背にくりつけて、其儘戸外に出た。

畠の雪は低く垂れて、何となく頭を壓へられるやうな空模様であつた。お作の小屋は温泉場の裏の斜坂の中央に當つて居るので、下には先づ棘^さ木^きの茅葺屋根、大根の青い烟が連つて、其下に温泉場、二階三階、大湯から出る湯の烟、上を仰ぐと、同じ畠の斜坂の爪先上りになつて居る間に一條の路がうねうねと通つて、其向うは烟るやうな檜林の灰色が連續した。

高い山には炭煙の烟が見える。

お作は家を出てその畠道を歩いた。つらいその身の境遇や、悲しい追憶よりも、ひもじいといふ念が第一にその胸に押寄せて来て、何か畠に食ふものはないかとあたりを見廻した。牛蒡烟、大根烟が一面に通り渡つて居たが、不圖五六間先に葱の白い根を上げた烟が眼に入った。

われを忘れて、烟の中に入つて、殆ど人の物を盗むなど、いふ念も起らぬ中に、忽ち一束の葱を取つて、それを捕へて、もとの畠の道に出た。其時、同じ畠道を、一人の男——兼ねて見知つて居る温泉宿の年寄の番頭が此方に歩いて來た。

葱を一束抱へてお作の立つて居るのを、ふと眼につけて、

「葱がね！」

と言つて笑つて通り過ぎた。

お作はさよのとして我に返つた。自己の罪跡を見附けられたと思つて、身が地にすくむやうな氣が爲

た。想しい飢餓をも忘れて、茫然として立つて居た。見ると、其年寄の番頭は一步々々其の細い爪先上りの道を静かに静かに歩いて行く。黒い縞のどてらが、青い烟と灰色の森との間をてくくと動く。ふと林に入らつとする畠から、鋤を荷つた一人の百姓が出て来て、段々と此方へ下りて來たが、前の番頭に出逢ふと、一人は立留つて何事をか語つた。いや、番頭の白い顔がちらと此方を振返つたのが見えた。てつくりその身の罪を告げて居る！ とお作は思つた。お作は顔を蒼青にしてぶる／＼と戰なぶへた。

一時間後に一事件が起つた。裏の山の林で、嬰兒殺しがあつたといふ噂が温泉場に知れ渡つた。見えて來た男に聞けば、林でおいく泣聲が聞えるから行つて見ると、それは小屋の祭文讀の聲で、自分で緊め殺した赤兒を抱いて聲を擧げて泣いて居たさうな。それから自分も死ぬつもりでもあつたのか、傍の樹には細帯が長く吊してあつたとの詰であつた。て、駐在所の巡査が一人まで剣をぢやらつかせながら驅けて行く。村の世話役の男が呼吸を切つて飛んで行く。そのあとから村の若者、子供、女、亦い蹴出しあら、大縞の絆縫やら、時計の鎖を絡ませた縮緬のへこ帶やら、赤鼻緒の黒塗下駄やら、ぞろ／＼とその細い畠道には、人が續いて、其向うの林の中に巡査の制服が見え、をり／＼けたゞましく泣く女の聲がきこえた。灰色の侘しい空が低く垂れた。

問一 引用部における「お作」の心情の移り変わりをくわしく説明しなさい。

問二 この小説の語りの特徴を説明しなさい。

問三 田山花袋という作家の文学史上の位置について、知つてることを説明しなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース (基盤日本語学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

(1枚目/3枚中)

[1] 次の文章を読んで、後の問い合わせに日本語で答えなさい。答案は横書きで書きなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
野口恵子 (2004) 『かなり気がかりな日本語』集英社新書、25 頁 13 行～29 頁 13 行。

- 問1 著者は傍線部(a)で「課題の立て方を誤った」と言う。では、学生に対して課題をどのように説明すればよかつたのだろうか。著者の意図をふまえて、よりよい課題文を100字程度で書きなさい。
- 問2 筆者が求めていた種類の敬語の文例を5つ考えて答えなさい（本文中に挙げられたものは除く）。ただし、互いによく似た文例は避け、できるだけ多様な文例とすること。
- 問3 傍線部(b)「(29頁12行、「敬語イコール接客用語」以下の1文)」とはどういうことか、わかりやすく説明しなさい。

[2] 次の12項目のなかから5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

- (1) 使用語彙
- (2) 類義語
- (3) 格関係
- (4) メタファー
- (5) 比較言語学と対照言語学
- (6) 条件異音
- (7) 新村出
- (8) 国語審議会
- (9) ウチナーヤマトウグチ
- (10) 中間言語
- (11) 相手に合わせた発話デザイン
- (12) 情緒スタンス

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて、各項目5から10行程度で説明しなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
芸術学専攻 アート・メディア論コース 筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 次に挙げる12の用語もしくは固有名の内から自由に5つを選び、それぞれ5行程度で説明しなさい。

- 1) フランク・ロイド・ライト 2) 看板建築 3) トーキーの到来 4) JASRAC
5) ヴォイス・オーバー 6) VHD 7) 少女歌劇 8) 宝塚歌劇団 男子
9) Art Nouveau 10) Robert Capa 11) フィジカル・シアター 12) ドラマツルギー

問2 次に挙げる6つの設問の内から自由に2つを選び、解答しなさい。

1) 別紙1の建物は、1925年竣工の大同生命肥後橋ビル（設計：ウォーリズ建築事務所／用途：事務所）である。同建築が1990年に解体された跡地に建設され、1993年に竣工したのが、別紙2の大同生命大阪本社ビルである（設計：日建設計・一粒社ウォーリズ建築事務所／用途：事務所）。施主は共に大同生命保険。

次の①～③の問い合わせに答えなさい。

- ①別紙1の建築様式やデザインの特徴について説明をなさい。
②歴史的様式をまとった戦前のオフィスビルの建て替え・増築におけるデザインの継承、の観点から、別紙2の建物について考察を加えなさい。
③歴史的様式をまとった戦前のオフィスビルの建て替え・増築に際して、別紙2とは異なるアプローチを試みた事例を1つ以上挙げ、②的回答と比較しながら分析し、今後の建築保存の在り方についてのあなたの考えを述べなさい。

2) ヌーヴェル・ヴァーグの特徴から影響を受けた映画作品の例を挙げ、詳しく分析してください。

3) 録音再生技術の文化的な意義を、具体例を挙げながら論じなさい。

4) レビューの成立に重要な要件をなすと考えられる技術を挙げ、理由を述べなさい。

5) 美術作品の大規模な移動にはどのような要因が関わるか。複数の要因を具体的な例を挙げながら論じてください。

6) 現代日本を含むアジアの演劇興行の形態には、西欧演劇のそれと異なるところが見て取れます。それらの点について、具体的に事例をあげながら説明しなさい。

(2枚目/3枚中)

(別紙1)

画像は、著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

大同生命肥後橋ビル

画像出典：https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/a/a6/Daido_seimei_higobashi_building.jpeg

(3枚目/3枚中)

(別紙2)

画像は、著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

大同生命大阪本社ビル

図版出典：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%90%8C%E7%94%9F%E5%91%BD%E5%A4%A7%E9%93%F3%93%F3%83%AB#/media/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB>: Daido Life Osaka Head Office Building, Osaka (Jan 2020). jpg

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース (音楽学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 A,Bからどちらか1問を選んで、日本語または英語で解答しなさい。 [配点50点]
A. 次の文章を読んで、その内容を要約し、あなたの研究対象とも関連させながら論じなさい。
(出典 Karl Hagstrom Miller, *Segregating Sound: Inventing Folk and Pop Music in the Age of Jim Crow*, 2010, Duke University Press, p.177, 1.33-p.178, 1.27)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、掲載を省略します。
出典は問題文のとおりです。

(2枚目／3枚中)

B. 次の文章を要約し、あなたの考えを述べなさい。

(出典 町田康『私の文学

史：なぜ俺はこんな人間になったのか』NHK 出版新書、2022 年、p. 41、kindle 電子書籍版位置
525-537)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、掲載を省略します。
出典は問題文のとおりです。

(3枚目／3枚中)

問2 あなたの研究計画について、参考文献を具体的に挙げながら、日本語または英語で説明しなさい。[配点50点]

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース (演劇学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 以下の6つの語すべてについて、それぞれ100字程度の日本語で説明しなさい。

- (1) アントナン・アルトー (2) 『三人姉妹』 (3) ドラマツルギー
(4) 『勧進帳』 (5) 時代物 (6) 夢幻能と現在能

問2 選択問題です。近現代演劇研究志望者は設問1、伝統演劇（芸能史）研究志望者は設問2を選んで解答してください。

設問1) 別紙1は、Oscar G. Brockett & Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Tenth Edition, Allyn and Bacon, 2008, p.395 の一部です。これを読み、以下の問い合わせに日本語で答えなさい。

- (1) 下線部 (A) はどのようなものですか。説明しなさい。
(2) Adolf Appia の考え方について、下線部 (B) に3点指摘されています。それぞれどのようなものですか。それぞれについて説明しなさい。
(3) Adolf Appia の理念はどのような形で実現されるのか、20世紀全体を通して、演劇史的に説明しなさい。
(4) 英文 (C) の部分を日本語に訳しなさい。

設問2) 別紙2は、西堂行人『日本演劇思想史講義』（論創社、2020年、2～5頁）の一部です。これを読み、以下の問い合わせに日本語で答えなさい。

- (1) 傍線部 (A) 「日本の中に様式として確立していこうとした」とありますが、この事例にあてはまると、あなたが考える日本の伝統演劇の作品をあげ、どのような文化を、どのように当てはめたのか、説明しなさい。
(2) 傍線部 (B) 「ところが日本は、このやり方を取りませんでした」とありますが、では日本の演劇はどのようなやり方を取ったのか。文章に即して、説明しなさい。
(3) 傍線部 (C) について、では西洋演劇はどのような特徴があるのか。文章に即して、説明しなさい。
(4) この文章の内容について、自由に評してください。

問3 演劇史において画期があるとすれば、そこはいつで、どのような意味において、画期だと考えるのか。任意の具体例をあげながら、自由に論じなさい。

(2枚目/3枚中)

別紙1

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Oscar G. Brockett & Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Tenth Edition, Allyn and Bacon, 2008,
p.395,L.1.8-1.49

(3枚目/3枚中)

別紙2

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
西堂行人『日本演劇思想史講義』（論創社、2020年、2頁1行目～5頁9行目）

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／外国人留学生選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

日本東洋美術史・西洋美術史コース（日本東洋美術史受験分野）筆記試験

[問題用紙は4枚です。]

問1 以下の用語のうち4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

[配点20点]

- 1) フランシス・ピカビア
- 2) オリエンタリズム
- 3) フィレンツェ、サンタ・マリア・ノヴェッラ聖堂
- 4) 浄土寺浄土堂
- 5) 楽茶碗
- 6) 与謝蕪村

問2 別紙1の問題に答えなさい。[配点28点]

問3 別紙2は伝藤原行成筆「粘葉本和漢朗詠集」（平安時代11世紀 宮内庁三の丸尚蔵館）の朗詠題「納涼」の一部です。和歌二首を翻刻しなさい。

[配点12点]

問4 別紙3は「日月四季山水図屏風」（室町時代、六曲一双、金剛寺蔵）です。図様を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの作品の魅力について述べなさい。[配点40点]

江戸時代の儒学者・画家の祇園南海（一六七六～一七五一）の詩文集『湘雲瓊語』卷之下所載の次の文について設問に答えなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

語注 蘭亭序図：中国東晋時代の王羲之「蘭亭集序」を題材とする絵画。四十二人の高士が侍童を従え曲水宴に興じる様子を、深山から池畔の小亭までの流水に沿って表す。

姑……しばらく。

槻……概に同じ。

右軍……右軍將軍であつた王羲之のこと。

案……机。

東床坦腹……ある武人が婿選びに来た際、王羲之は東の床で腹を出して横になつたまま食事をしていたが、その変人ぶりによつて選ばれたという故事。

板……平板。

設問一 冒頭から七行目「四圍茂林脩竹圍之」までを書き下し文にしなさい。

設問二 南海は「蘭亭序図」をどのように改変すべきと述べているかを簡潔に説明しなさい。

別紙2

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。